

【22_304技術系メルマガ】グランビルの目線も、ポイントは結局『自分』が決める

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

最近メールでのお返事で、バックナンバーを読んだ読者さんから

「グランビルに基づいた目線の捉え方について、もう少し深掘りして教えてほしい」との

要望がチョコチョコ来るようになりました(多分、【236】通目辺りを読まれたんだらうと思います)。

そこで今回、最近(と言っても先週中ごろになりますが)の事例を使いながら

グランビルをベースにしたH1足での目線の決め方について、考察を試みようと思います。

□
└─ 結局、何といてもトレードの目線は『自分で決める』しかない。

まず、具体的事例に入る前に大事な事として、『目線』を考える上で重要なのは

【相場から正しい目線(値動きを読む)を導き出すことはできない】ということです。

これを僕は『相場は答えを教えてくれない。結果を示してくるだけだ』と言っているのですが

いくらグランビル、トレンド、その他テクニカルを駆使しようと、先の値動きがどうなるかを読むことは誰にもできない。

そこを心得たうえで『それでも自分は、何を根拠に目線を定めるか』を決めなければならないということを念頭に置いておきましょう。

そして、結果として目線が正しかったのなら、利確目標まではしっかりポジションを保持し

違ったなら建値で逃げるか、極力小さな損切りで済ませて、次に備える。

常にこの判断の繰り返しであることは忘れないようにしましょう。

では、本題です。

まず、おさらいの為に

僕は『目線』を決める際、いつも『H1足の現在価格と20MAとの位置関係(主にグランビル)』から方向を決め

その方向にH4足以上の上位足で邪魔な水平線やMAが無いかを確認したうえで

決めた目線に従って『短期足のセットアップを待つ』というやり方で一貫しています。

▼参考: H1足のグランビル(【236】通目メルマガより) ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-08-15.png

これを踏まえたうえで、以下のチャートを見てみてください。

▼10/26 GBPUSDチャート▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/22-10-26.png

このチャートを見て、あなたならどちらの方向に目線を固定しますか？

これは、どっちが正しいかという話ではなくて

自分がいつも、『何を基準と考えて、常々目線を固定するのか』を考えることが大事なのです。

例えば僕の場合ですが、日足の赤線の水平線を意識する前提で

H4足の高値を超えられない限りロングは打ちにくいと判断し

その日の目線は『ショート』と決めていました。

これは、サロン仲間の皆さんや、デイトレ講座上級コースの皆さんにはお伝えしていたので

覚えている人もいます。

結果は見ての通り、結局力強く上昇していったので、僕の目線は違ったという結末に終わりましたが

あくまで、『邪魔(だと思った)ラインやMAに向かってトレードしない』という

自分の中での決めごとに従って判断した目線だったので、これは僕の中では納得して受け入れています。

ここで、「ああ、ロングしておけばよかったのに・・・」と先日の自分の判断を簡単に翻してしまうのが、一番良くないのです。

そんな考え方で、自分の目線に『一貫性がある』なんて言えないですよね？

結局、自分のテクニカルの精度を高める方法は、時間と手間をかけて検証・テスト・振り返りを積み重ねていくしかないですし

それをどれだけ磨いたとしても、自分の目線を相場が否定するのであれば

それが相場の答え(正解)と認めるしかないわけです。

『目線』も『セットアップ』も、すべて自分の検証とテストの積み重ねを背景にして

【自分で決める】

これをいつも忘れないようにしておきましょう。